

本書において、誤記がございましたのでお詫びの上、訂正させていただきます。

頁・番号等	正	誤								
<p>6 頁 6.10 燃焼試験 (3) ハロゲン化水素発生量試験 表 6 一番右の欄</p>	<p>表 6</p> <table border="1" data-bbox="638 437 1323 850"> <thead> <tr> <th data-bbox="638 437 943 502">ハロゲン化水素発生量試験</th> <th data-bbox="943 437 1323 502">ハロゲン化水素発生量試験手順</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="638 502 943 850">(略)</td> <td data-bbox="943 502 1323 850">(1) 吸収びんに <u>1/5N</u> 水酸化ナトリウム溶液 50ml を入れ、乾燥空気供給部、燃焼部及び吸収部の各部分を接続する。 (2) ~ (4) (略) (5) 試料 <u>50ml</u> を採取し、これに濃硝酸 (JIS 特級) 2ml、1/10N 硝酸銀 20mg 及び硫酸第 2 鉄アンモニウム溶液 1ml を加え、1/10N チオシアン酸アンモニウム溶液で滴定する。</td> </tr> </tbody> </table>	ハロゲン化水素発生量試験	ハロゲン化水素発生量試験手順	(略)	(1) 吸収びんに <u>1/5N</u> 水酸化ナトリウム溶液 50ml を入れ、乾燥空気供給部、燃焼部及び吸収部の各部分を接続する。 (2) ~ (4) (略) (5) 試料 <u>50ml</u> を採取し、これに濃硝酸 (JIS 特級) 2ml、1/10N 硝酸銀 20mg 及び硫酸第 2 鉄アンモニウム溶液 1ml を加え、1/10N チオシアン酸アンモニウム溶液で滴定する。	<p>表 6</p> <table border="1" data-bbox="1355 437 2018 850"> <thead> <tr> <th data-bbox="1355 437 1637 502">ハロゲン化水素発生量試験</th> <th data-bbox="1637 437 2018 502">ハロゲン化水素発生量試験手順</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1355 502 1637 850">(略)</td> <td data-bbox="1637 502 2018 850">(1) 吸収びんに <u>1/3N</u> 水酸化ナトリウム溶液 50ml を入れ、乾燥空気供給部、燃焼部及び吸収部の各部分を接続する。 (2) ~ (4) (略) (5) 試料 <u>100ml</u> を採取し、これに濃硝酸 (JIS 特級) 2ml、1/10N 硝酸銀 20ml 及び硫酸第 2 鉄アンモニウム溶液 1ml を加え、1/10N チオシアン酸アンモニウム溶液で滴定する。</td> </tr> </tbody> </table>	ハロゲン化水素発生量試験	ハロゲン化水素発生量試験手順	(略)	(1) 吸収びんに <u>1/3N</u> 水酸化ナトリウム溶液 50ml を入れ、乾燥空気供給部、燃焼部及び吸収部の各部分を接続する。 (2) ~ (4) (略) (5) 試料 <u>100ml</u> を採取し、これに濃硝酸 (JIS 特級) 2ml、1/10N 硝酸銀 20ml 及び硫酸第 2 鉄アンモニウム溶液 1ml を加え、1/10N チオシアン酸アンモニウム溶液で滴定する。
ハロゲン化水素発生量試験	ハロゲン化水素発生量試験手順									
(略)	(1) 吸収びんに <u>1/5N</u> 水酸化ナトリウム溶液 50ml を入れ、乾燥空気供給部、燃焼部及び吸収部の各部分を接続する。 (2) ~ (4) (略) (5) 試料 <u>50ml</u> を採取し、これに濃硝酸 (JIS 特級) 2ml、1/10N 硝酸銀 20mg 及び硫酸第 2 鉄アンモニウム溶液 1ml を加え、1/10N チオシアン酸アンモニウム溶液で滴定する。									
ハロゲン化水素発生量試験	ハロゲン化水素発生量試験手順									
(略)	(1) 吸収びんに <u>1/3N</u> 水酸化ナトリウム溶液 50ml を入れ、乾燥空気供給部、燃焼部及び吸収部の各部分を接続する。 (2) ~ (4) (略) (5) 試料 <u>100ml</u> を採取し、これに濃硝酸 (JIS 特級) 2ml、1/10N 硝酸銀 20ml 及び硫酸第 2 鉄アンモニウム溶液 1ml を加え、1/10N チオシアン酸アンモニウム溶液で滴定する。									
<p>7 頁 表 7 一番右の欄</p>	<p>表 7</p> <table border="1" data-bbox="638 900 1323 1313"> <thead> <tr> <th data-bbox="638 900 943 965">ハロゲン化水素発生量試験</th> <th data-bbox="943 900 1323 965">ハロゲン化水素発生量試験手順</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="638 965 943 1313">(略)</td> <td data-bbox="943 965 1323 1313">(6) 試料 10ml を採取し、これに水 90ml を加え、1/10N 塩酸で pH5.0 以上、6.0 以下に調整した後、水を加えて 250ml としてふっ化物用試料をつくり、次の方法により <u>ふっ化物イオン濃度</u> を求める。 (以下 略)</td> </tr> </tbody> </table>	ハロゲン化水素発生量試験	ハロゲン化水素発生量試験手順	(略)	(6) 試料 10ml を採取し、これに水 90ml を加え、1/10N 塩酸で pH5.0 以上、6.0 以下に調整した後、水を加えて 250ml としてふっ化物用試料をつくり、次の方法により <u>ふっ化物イオン濃度</u> を求める。 (以下 略)	<p>表 7</p> <table border="1" data-bbox="1355 900 2018 1313"> <thead> <tr> <th data-bbox="1355 900 1637 965">ハロゲン化水素発生量試験</th> <th data-bbox="1637 900 2018 965">ハロゲン化水素発生量試験手順</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1355 965 1637 1313">(略)</td> <td data-bbox="1637 965 2018 1313">(6) 試料 10ml を採取し、これに水 90ml を加え、1/10N 塩酸で pH5.0 以上、6.0 以下に調整した後、水を加えて 250ml としてふっ化物用試料をつくり、次の方法により <u>ふっ化イオン濃度</u> を求める。 (以下 略)</td> </tr> </tbody> </table>	ハロゲン化水素発生量試験	ハロゲン化水素発生量試験手順	(略)	(6) 試料 10ml を採取し、これに水 90ml を加え、1/10N 塩酸で pH5.0 以上、6.0 以下に調整した後、水を加えて 250ml としてふっ化物用試料をつくり、次の方法により <u>ふっ化イオン濃度</u> を求める。 (以下 略)
ハロゲン化水素発生量試験	ハロゲン化水素発生量試験手順									
(略)	(6) 試料 10ml を採取し、これに水 90ml を加え、1/10N 塩酸で pH5.0 以上、6.0 以下に調整した後、水を加えて 250ml としてふっ化物用試料をつくり、次の方法により <u>ふっ化物イオン濃度</u> を求める。 (以下 略)									
ハロゲン化水素発生量試験	ハロゲン化水素発生量試験手順									
(略)	(6) 試料 10ml を採取し、これに水 90ml を加え、1/10N 塩酸で pH5.0 以上、6.0 以下に調整した後、水を加えて 250ml としてふっ化物用試料をつくり、次の方法により <u>ふっ化イオン濃度</u> を求める。 (以下 略)									